

研究タイトル：スポーツ選手の動作改善・障害予防に関する研究


氏名：	北 哲也 / KITA Tetsuya	E-mail：	kita@tokuyama.ac.jp
職名：	准教授	学位：	博士(体育学)
所属学会・協会：	日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体力医学会, 日本トレーニング科学学会, 日本コーチング学会, 日本スポーツパフォーマンス学会,		
キーワード：	野球, スポーツバイオメカニクス, 動作解析		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ選手のパフォーマンス評価 ・体力測定、運動・トレーニング指導 		

研究内容：

これまで主として野球選手を対象に、競技中の動作をスポーツバイオメカニクスの観点から解析することでパフォーマンス向上につながる知見を獲得しています。
 最近では、野球投手における投球数過多の問題に対して、練習環境の調査や投球数と投球動作の関係など明らかにすることで、障害予防につながる研究を行っています。

主な研究内容

- 野球内野手のゴロ打球処理における送球動作の分析
 捕球から送球までの動作を3次元的に解析することで、リリース時間を短くするための要因を検討します。従来行われてきた指導者の主観的指導に加え、科学的知見を踏まえた効果が期待できます。
- ペダリングトレーニングが野球選手の疾走能力に及ぼす影響
 自転車エルゴメーターを用いたトレーニングにより、野球選手の30m疾走能力が高まることを検証しました。時間と場所を選ばず、またケガの危険性の少ない安全なトレーニング方法として期待できます。
- 高校野球チームにおける投球制限の実施状況と指導者による投球障害の把握状況に関する調査
 投手の「投げ過ぎ」の問題に対して、高校野球チームの普段の活動において、投球制限がどの程度意識されているか、投球数は把握されているか、また指導者が現在・過去の障害経験をどの程度把握しているかといった情報を得るためにアンケート調査を実施しています。
- 高校野球投手における投球数と投球後の身体機能の変化について
 投手の「投げ過ぎ」問題に関して、実際の球数や登板間隔と、投球による身体機能の関係について明らかにすることで、指導現場において障害を予防しながら活動を行うための知見を提供します。

スポーツ選手全般に対して、動作解析によるパフォーマンス評価が可能です。
 また、ジュニア期からトップアスリートを対象に、体力測定ならびにトレーニング指導を行うことが可能です。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	



Name		E-mail	
Status			
Affiliations			
Keywords			
Technical Support Skills	<ul style="list-style-type: none"> • • • 		

Research Contents

英語版を作成しない場合は、
この英語版ページを削除する。

Available Facilities and Equipment
